

岡山県へ「西日本豪雨災害義援金」を贈呈しました。

全国の生協から寄せられた、総額3億円

西日本豪雨災害での甚大な被害に対し、日本生活協同組合連合会の呼びかけで、全国の生協で「西日本豪雨緊急支援募金」が取り組まれました。9月20日の一次締切までに5億8千万円もの心温まる募金が寄せられ、被害を受けた各府県へ被害の大きさに比例して募金が配分され、岡山県へは2億8,530万9,403円が贈られました。

11月13日(火)に、県庁の知事室にて、義援金贈呈式が行われ、岡山県災害義援金推進本部長の伊原木隆太岡山県知事へ日本生活協同組合連合会の本田英一会長から贈呈の言葉とともに目録が手渡されました。また、この日はおかやまコープの平田昌三理事長からもおかやまコープの組合員から寄せられた募金から1,500万円が県に贈呈され、総額3億円を超える義援金の贈呈となりました。

伊原木隆太岡山県知事からは、「全国の生協と地元の生協の組合員の皆様の貴重なお金をこんなにたくさんいただきまして、本当にありがとうございます。今回の豪雨災害で被災された方々、家を失った方々のために大切に使用させていただきます。被災された方々になり代わりまして厚くお礼を申し上げます。」とお礼の言葉をいただきました。

なお、この贈呈式の模様は、地元の瀬戸内海放送の夕方のニュースで放映されました。



平田理事長 伊原木知事 本田会長



目録を贈呈する本田会長